

KSKQ

一般社団法人 日本障害者カヌー協会 機関紙

パラマウント通信

2020/1/31

もういくつ寝ると
東京 2020 パラリンピック号

NO.79

YAMAGATA



山形パラチャ報告「はじめての川下り体験」

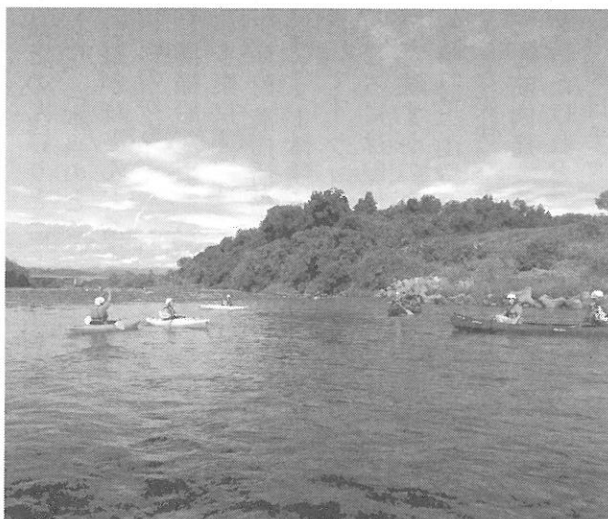
2019年9月22日山形県寒河江で、2回目のパラマウント・チャレンジ・カヌーin山形が開催されました。今回は、初参加の田代あゆみさんからのレポートをお届けします。

去年からグリバー寒河江のプールでカヌーの練習をしていたけど、川に行くのは初めてなので凄く

9月22日パラマウントチャレンジカヌーin山形に参加しました。大会の前日に行われた前夜祭にも参加しました。私は耳が聞こえないので、友達や手話ができる人と話をしていた。手話を見て興味をもってくれた人がいたので、即席で手話を教えてから手話で会話をしてくれ、すごく嬉しかったです。翌日の大会は、障がいのある方も、障がいのない方も一緒に最上川での川下りです。



山形パラ参加者
田代 あゆみ



最上川ツーリングの様子、正に絶景！！

わくわくしていましたが、私一人では2人用のカヌーで川下りに挑戦しました。2人用のカヌーは初めてなので、ドキドキしながら一緒に乗る方と少し練習しました。そしていよいよ川下りスタート！みんな順調に川を下っていきます。途中で50cm位の川の落ち込みがあって、その時は「おお！」とビビったけど凄く面白かったです。周りの景色を見たり、青空を見上げたり、思いま

がら気持ちいいなあと感じました。参加したみんなと話したりしながら無事にゴール。一緒に乗ってくれた方と目線や身振りでコミュニケーションしながら川下りでき、本当に嬉しかったです。障がいの有無に関係なくいろんな方と交流しながら川下りができ、とっても楽しい一日となりました。ぜひまたパラマウントチャレンジカヌーに参加したいと思います。

「東京運河ごみゼロカヌーツーリング」 に参加してきました

10月6日、東京オリンピック・パラリンピック応援プログラムとして、東京都江東区でクローバー橋からスカイツリーの間をカヌーで下る「東京運河ごみゼロカヌーツーリング」に日本障害者カヌー協会も参加してきました。今回、事務局でアルバイトして頂いています。久保佳代さんよりレポートを頂きました。



事務局アルバイト&参加者
久保佳代

はじめまして。7月事務局に入ったフレッシュとは言い難い新人アルバイト、久保です。カヌーは某夢の国で乗った程度、知識も経験もほぼゼロ。そんな私がなぜ事務局とご縁ができたかは機会があれば、の話として。「久保ちゃんもいつかカヌーに乗ってや」の吉田会長の

言葉に、この年齢で乗れるかな・・・?そう思っていたのですが、意外に早く機会はやってきました。10月6日天気は曇り時々小雨。TOKYO2020開催に向け、川の美化活動を通じて国内外からのゲストを「おもてなし」の心で、江東区の旧中川、江戸時代に中川

船番所があった辺りからカヌーに乗りこみ、その昔EDOの生活を支えた流通の要所「東京運河」を、東京を代表する観光名所の1つであるスカイツリーを目指して清掃活動をするツーリング。カヌー初心者の方は会長と一緒に2人艇に乗りこみました。前日開

催された「チャレスポ! TOKYO」(東京国際フォーラム)で子どもたちをサポートしつつエールを込めて漕いでしつかりイメトレ済み。なのに漕ぎ始めると左へ左へ寄っていく。もともと左利きなのに何で?左左右、左左右右・・・こんなペースで漕いで、オープンングセレモニーが行われるクローバー橋には、やっとたどり着いた感。ツーリングはここからがスタート、先は長い。全国から集まった約200艇のカヌー。老若男女問わずカヌーを愛する人たちの集まりは壮観です。ツーリングの往路は先輩たちに牽引してもらって、復路は川から東京の街を眺めながら身の上話をしながら

ら会長とのんびりと漕ぎました。(本当のところは会長がほとんど漕いでいたのかも)。

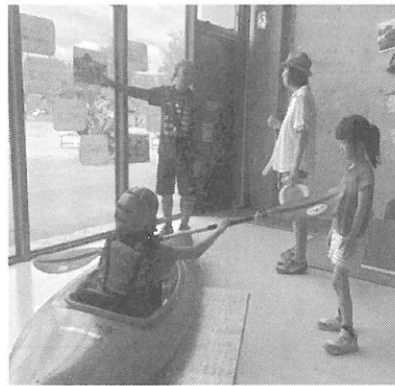
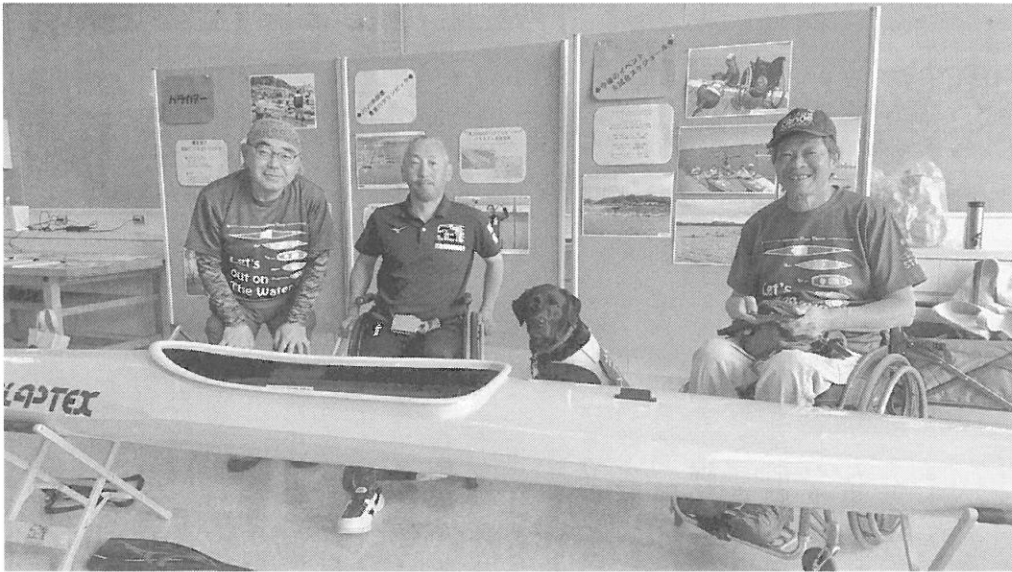
毎日清掃船が出ているという東京運河はゴミも少なめ。清掃活動より、ほぼカヌー体験で終わった私です。フィニッシュのころには参加者の笑顔を映すかのように空も晴れて、山登りの後のような爽快感。翌日はきつと筋肉痛、そう思っていたけれど意外と平気。前日チャレスポ!で来場した子どもたちと頑張った腕や脚

は、当日の朝の方が筋肉痛。どうやら筋肉痛をさるなる運動で治すという・・・中学の部活動以来の経験でした。「東京運河ごみゼロカヌーツーリング」次回は2020年5月の予定。この運河の水が澄んで河岸に木や花でも眺められる場所になれば、国内外のゲストにもカヌー体験を楽しんでもらえるロケーションだと感じます。TOKYO2020の「おもてなし」ご一緒に参加してみませんか?



『介助犬フェスタ2019』で パラカヌーを紹介してきました

5月18日、愛知の愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で開催された『介助犬フェスタ2019』にパラスポーツ紹介としてパラカヌーを紹介した様子を普及部の宮崎満さんがレポートして下さいました。



2019年5月18日(土) 愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で『介助犬フェスタ2019』が開催されました。毎年、このイベントの



日本障害者カヌー協会 普及部
宮崎 満

中で、パラスポーツを紹介するコーナーがあり、今回、カヤックを展示するスペースとメインステージでパラカヌーについて、発表する時間を頂き、吉田会長と参加してきました。

私が、社会福祉法人日本介助犬協会 介助犬総合訓練センター『シンシアの丘』のボランティアを開所時からさせて頂いて、『シンシアの丘』の職員の方にも、以前より名古屋パラのサポートスタッフとしてお手伝いをして頂くなど、障害者カヌーについて、ご理解を頂いていたこと。当会のパラカヌーズプリント選手の我妻さんが、介助犬使用者さんであることもあり、今回のイベント参加・出展となりました。カヤック展示スベ

スでは、競技用スプリント艇を1艇、ダウンリバー艇を1艇、パラチャで受講者さんに乗って頂いている、幅の広いリクリエーション艇を1艇、計3艇の展示と壁面には、各地のパラチャの写真、パラカヌーズプリントの大会の写真を掲示、出入り口横に設置された大型液晶テレビでは、当会のプロモーションビデオとパラカヌーズプリントの選手の練習の様子を放映し、幅の広いリクリエーション艇には、「カヌーに乗れますよ!」とコメントのポップを付け、来場者の方に、ヘルメットとライフジャケットを身に着け、パドルを持って、室内ですが、カヤックに乗って、疑似体験をしてみもらいました。

今回の介助犬フェスタは、1日で7700人を超す来場者と大盛況のイベントでした。その中で、当会のコーナーに足を運んでくださった方々と話をしてみると、「カヌーという名前は知っている。」「テレビで見たことはあるけど、実際に触るのは初めて、触るのも初めて、まして乗るのは初めて!」という人がほとんどでした。中部地区ということもあり、来場者の中には、リオオリンピックのカヌースラローム銅メダリストの羽根田選手と昔、同じ川(矢作川)で練習していたという人もみえましたが、カヌー経験者でも、障害者カヌーについては知らないという事でした。

障害者カヌーに長年携わって来て、確かに『カヌー』というスポーツは、メジャーではないと思っていました。自分達が、普通に触って、乗って楽しんでいることから、もう少し社会的に認識されているものと思い込んでいました。しかし、今回の「初めて見る」「初めて触る」...という大勢の方の言葉で、今までの普及活動の足りなさを感じました。今後とも、皆さんと共に、『障害者カヌー』を『水上はバリアフリー!!』を広めていきたいと思えます。どうぞ力を貸して下さい!一緒に楽しみましょう!

2019
9/21

2019
11/15

宮城県加美町パラカヌーサポート講習会

9月21日昨年に続いて、宮城県加美町で開催されるパラカヌーサポート講習会に講師として呼んで頂きました。

昨年は加美町中心の方々が受講されましたが、今年は東北地方の各県から障害者スポーツ関係者やB&G施設関係者合計25名が受講して下さいました。

午前の講義では、会長から協会の成り立ちや理念、将来の夢を話し、事務局からは、障害の理解や社会の現状課題などについて、また、地域での普及活動や海外遠征、東京パラリンピックを控えた東京での経験を含めてお話しさせて頂きました。

午後は実技のワークショップ。午前の講義を踏まえてカヌーと身体と頭を使います。実際に障害の状態や、水上の状況を想像しながらカヌーのフィッティングを行ってもらい、気づいて配慮した点を発表してもらいました。



もちろんその後はカヌー体験も。

大切な事は、双方に『気づき』ではなく双方に『気づき』を持ち合わせることで、そして何よりも、遊びや楽しみを忘れない事だと思います。

9月の講習会の続きとして11月15日は宮城県加美町やくらいウォーターパークでのプール体験を行います。

参加者、サポーターはも



もちろん協会スタッフも一日カヌー体験を楽しみました。企画して下さいましたB&Gの皆様、加美町の皆様、参加して下さいました皆様、ありがとうございました。



2019
10/14

霞ヶ浦パラ

10月14日雨の中、茨城県土浦市のラクスマリーナで霞ヶ浦パラが開催されました。

前日までの台風による雨のため、水量は多くありましたが、参加者はカヌーを楽しむことが出来ました。

協力していただいた皆さんの力で無事、終了することが出来ました。

来年もまた、カヌーを通して多くの障害を持つ人々が集う場所になるよう努力を重ねて行きたいと思えます。





海外派遣選考ガイドライン

公平・公正な選手選考のために、下記のガイドラインを設定する。

1 基準記録に25%のタイムを加算した記録（以下、「選考基準記録」という。）を突破した選手を選考する。（出場上限枠は各国2名：ICF基準）

※基準記録とは、今年度世界選手権の各カテゴリートップの記録を基準とする。

2 選考基準記録を突破した選手が1名の場合は、当該選手を選考する。

3 選考基準記録を突破した選手がいないカテゴリーの場合、基準記録に50%のタイムを加算した記録（以下、「最低ライン記録」という。）を突破した選手の内、最上位の選手を選考する。

4 最低ライン記録を突破した選手がいない場合、当該カテゴリーから代表選手を選出しない。

5 上記1から3までに該当する選手であっても、過去4年以内に、ドーピング、クラス分け又は故意による反則行為の不正その他の協会規程の違反があり、当協会が処分を発表した選手である場合、該当する規則の重要性、不正・違反の程度を考慮し、代表選手としての適格性がないとして選考しないことがある。

6、5によって1位の記録の選手を選考しないカテゴリーがあった場合は、次点の記録の選手を選考対象とする。

7 海外派遣選手選考会の結果に基づき、協会理事会において派遣選手を選考する。選考結果は、選考会の翌日に公表し、不服の申し立ては、公表日より1週間以内に任意の書式により文書での提出とし、事務局にて受け付ける。

2019年12月20日
一般社団法人日本障害者カヌー協会

2019年6月6日

東京2020パラリンピック競技大会
日本代表選手団編成方針及び選手選考・決定手順

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
日本パラリンピック委員会

1. 日本代表選手団編成方針

(1) 日本代表選手団は、パラリンピックムーブメントの推進に寄与するとともに、社会規範を遵守し、公平性・誠実性・協調性に基き行動できる選手・役員をもって編成する。

(2) 選手は、競技団体から推薦された者で国民の期待に応え得る競技力を有する者とし、役員は、競技団体から推薦された者で障がいの種類・程度や性別等に配慮し、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようにサポートできる者とする。

2. 日本代表選手・役員選考・決定

選手・役員は、所属する JPC 加盟競技団体(以下、「競技団体」という。)が定める東京2020パラリンピック競技大会日本代表選手・役員選考規程に基づき選考され、日本パラリンピック委員会(以下、「JPC」という。)に推薦された候補者の中から JPC が以下の基準により選考し、決定するものとする。

3. 選手選考基準

国民の期待に応え得る競技力をもつとして競技団体から推薦された候補者で、次の1～3に掲げる全ての条件を満たす者を選考する。但し、開催国枠のある競技は下記の条件を満たす者を選考する。

- (1) 東京2020パラリンピック競技大会の参加資格を満たしている者
- (2) 医学的観点から、日本代表選手として推薦できる者
- (3) メダル獲得または入賞の可能性のある者

【開催国枠により推薦された候補者の選考基準】

- ① 個人競技: 上記(1)、(2)の条件に加え、パリ2024パラリンピック競技大会での入賞等、将来的な活躍が期待できる次世代の選手
- ② 団体競技: 上記(1)、(2)の条件を満たす者

4. 選考・決定手順

- (1) 競技団体より推薦された候補者リストを受理する
- (2) 選考基準により JPC 強化委員会および日本障がい者スポーツ協会医学委員会により選考する
- (3) JPC 運営委員会により決定する
- (4) 日本障がい者スポーツ協会理事会にその決定を報告する
- (5) 推薦のあった競技団体へ通知するとともに公表する
- (6) 選考結果に対する不服申し立ては、公表後7日以内に、当該競技団体を通じて文書により行われたものについて受理し、日本障がい者スポーツ協会内に設置される不服審査委員会により処理する

5. 提出文書

- (1) JPC が定める書式で次の文書を提出すること
 - ① 推薦選手・役員一覧表
 - ② 推薦選手・役員調査書
 - ③ 健康調査書及び健康診断書
 - ④ 服用薬物およびサプリメントについての調査書
- (2) 選手の推薦にあたっては、競技団体内に選考委員会を設置し、推薦選手一覧表と併せて次の資料を提出すること
 - ① 推薦選手選考規程
 - ② 推薦の根拠とした資料(当該国際障がい者スポーツ組織の定めた参加制限〈出場枠など〉、公式ランキング、公式記録など)
 - ③ 選考にあたって問題が生じた場合、その内容についての説明
 - ④ その他 JPC が求めるもの

イベントカレンダー

詳細、更新情報は協会HP
イベントカレンダーをご覧ください



開催日	イベント名	開催地
2月8日(土)~9日(日)	第2回エルゴ選手権大会	埼玉県
3月20日(金)~26日(木)	アジアパラカヌー選手権大会	タイ
3月14日(土)~15日(日)	海外派遣選手選考記録会	石川県
5月6日(水・祝)	パラマウントチャレンジカヌー in 霞ヶ浦	茨城県
5月22日(金)~24日(日)	パラカヌーワールドカップ【予定】	ドイツ
6月13日(土)~14日(日)	全国200メートル競漕	石川県
7月5日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 京都	京都
7月12日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 霞ヶ浦	茨城県
9月3日(木)~5日(土)	東京パラリンピック	東京
9月10日(木)~14日(土)	日本パラカヌー選手権大会	石川県
10月4日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 円山川	豊岡
10月10日(土)・11日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 奈良	奈良
10月18日(日)	パラマウントチャレンジカヌー in 霞ヶ浦	茨城県

会員更新手続きが出来ていない会員の方は、更新をお願いいたします

会員の皆様、毎年4月は会員資格の更新月になっております。下記会費振り込み先に更新会費2000円の振り込みをお願いいたします。振り込み確認次第、会員カードに貼って頂く、更新ステッカーを送らせて頂きます。

この広報誌は会員の皆さまの会費で発行させて頂いております。前号で会費更新手続きが出来ていない方には払込用紙を送らせて頂いております。是非会員更新手続きをお願いいたします。

〈加入者名〉 一般社団法人日本障害者カヌー協会

〈口座番号〉 01020-7-12908

※他金融機関からの振込口座番号 一〇九(イチゼロキユウ)店(109)当座0012908

協賛企業の紹介です

導体・電子部品メーカー等の商材を取り扱う「グローセル」さんが日本障害者カヌー協会の協賛企業として頂く事になりました。



(一社)日本障害者カヌー協会 から会員募集のお知らせ

(一社)日本障害者カヌー協会では、一人でも多くの方に、協会に協力いただきたいと願っています。会員になる資格は特にありません。障害の有無は関係ありません。協会主旨に賛同いただければどなたでもOK。入会にあたっては、入会金はございませんので、年会費2000円を振り込み頂き、協会ホームページから入会申込書をダウンロードして頂き、必要事項を記入して協会事務局宛に郵送をお願い致します。

事務局
連絡先

〒107-0052
東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル4階
(一社)日本障害者カヌー協会
電話 03-6229-5440

編集人

〒630-0201 奈良県生駒市小明町493-17 吉田義朗 方

会費
振込先

*郵便振替です
〈加入者名〉 一般社団法人日本障害者カヌー協会
〈口座番号〉 01020-7-12908
※他金融機関からの振込口座番号
一〇九(イチゼロキユウ)店(109)当座0012908

ホームページ: <http://www.japan-paracha.org/>
協会へのご連絡、お問合せは、ホームページの「協会への問合せ」からお願いします。



2019年はラグビーW杯で盛り上がり、ラグビー教室の受講者が増えているとか。2020年はオリパラでカヌーを見て体験者が増えたらうれしいですね!霞ヶ浦で待っています!! (きたむら)

今年はいよいよTOKYO 2020オリパラ大会開催の年ですね。パラリンピックには、ボランティアとして参加したいと思っています。研修も始まりました! (とほほのみやざき)

今年TOKYO2020オリパラの年ですが、毎年悪天候で開催出来ない京バラが、6年ぶりに開催できますよーにー! (まこと)



SOMPOひまわり生命

あなたが健康だと、だれかがうれしい。

